



日本スプリントオリエンテーリング地図図式規程

Japan Specification for Sprint Orienteering Maps
(JSSOM 2007)

制定 平成18年 3月15日

改訂 平成19年 3月 3日



社団法人日本オリエンテーリング協会 地図委員会
2007

日本オリエンテーリング協会 地図委員会
尾上俊雄 (委員長)、田中徹 (編)、羽鳥和重、中村弘太郎、高島和宏

日本スプリントオリエンテーリング地図図式規程

1. 総 則

この規程は、スプリントオリエンテーリング地図作成のための図式を定めたものである。

国際オリエンテーリング連盟が定めたスプリントオリエンテーリング地図国際図式 (International Specification for Sprint Orienteering Maps, 以下 ISSOM という) を基に、わが国独自の記号を加えたもので、わが国におけるスプリントオリエンテーリング地図の基本となるものである。

2. 適 用

スプリントオリエンテーリング競技に使用する地図は、この規程により作成する。

この規程による図式は、その他の競技形式における 1:5,000 以上の大縮尺の地図に適用してもよい。

この規程による図式は、スプリントオリエンテーリング地図の競技の特性を考慮して定められたもので、次の特徴がある。

- スプリントオリエンテーリング競技は、市街地、公園、森林あるいはこれらが複合した地域で行われる。
- 障壁や通過不能な特徴物は、太い黒線で表記する。
- この太線で表記された特徴物は、競技の公正を期すために通過禁止である。
- 車両の通行に配慮した表記が必要である。
- 多層構造物については、主として走行する階層について図化する。

この図式を適用するに当たっては、これらの点に留意した上で使用しなければならない。

この図式は、オリエンテーリング地図国際図式 (International Specification for

Orienteering Maps, 以下 ISOM という) ならびに日本オリエンテーリング地図図式規程 (以下 JSOM という) とは独立した図式である。

3. 一般的事項

3.1 縮 尺

地図の縮尺は、1:5,000 または 1:4,000 が適切である。

3.2 等高線間隔

等高線間隔は、縮尺によらず 2m あるいは 2.5m が適切である。

3.3 磁北線間隔

磁北線は、縮尺によらず 150m に相当する間隔で表記する。

3.4 地図サイズ

地図のサイズは、A 4 版以下が望ましい。

3.5 色

地図に使用する色は、ISOM ならびに JSOM と同じである。

3.6 記号の大きさ

地図面の記号の大きさは 1:5,000 と 1:4,000 で同一である。

印刷による地図記号の大きさの逸脱は±5%以内とする。

地図における最小寸法は以下のとおりである。

同色 (茶, 黒) 2 本の細い線の間隔 : 0.15mm
2 本の青線の間隔 : 0.25mm

黒色の線と面の間隙：0.15mm
 点線の長さ：少なくとも2ドット
 破線の長さ：少なくとも2ダッシュ
 点線で囲まれた面積：5ドット，直径1.5mm
 色で塗られた面積：
 青，緑，灰，黄100%：0.5mm²
 黒のドットスクリーン：0.5mm²
 青，茶，緑，黄のドットスクリーン：1.0mm²

スクリーン表示

スクリーンで表わされる記号間の重複表記は次の表に基づいて行う。表中の●印は重複して表記することが可能であることを意味する。

この他のスクリーンで表わされる記号（211,412,413,415,421,431,528.1,529等）は他の記号と重複して表記しない。

117 凹凸地		117 凹凸地	
210 れき地		210 れき地	
309 渡れない湿地		309 渡れない湿地	
310 湿地	●●	310 湿地	
311 不明瞭な湿地	●●	311 不明瞭な湿地	
401 開けた土地	●●	401 開けた土地	
402 まばらに木の生えた開けた土地	●●●●	402 まばらに木の生えた開けた土地	
403 荒地	●●●●	403 荒地	
404 まばらに木の生えた荒地	●●●●	404 まばらに木の生えた荒地	
406 林:走行可能	●●●●	406 林:走行可能	
407 下生え:走行可能	●●●●	407 下生え:走行可能	
408 林:走行困難	●●●●	408 林:走行困難	
409 下生え:走行困難	●●●●	409 下生え:走行困難	
410 植生:通行困難	●●●●		

3.7 印刷

スプリントオリエンテーリング地図は、従来の特色印刷に加えて、線の品質、判読性および色調が特色印刷と同等であれば、他の方法を用いてもよい。

4. 図式

4.1 地形

- 101 主曲線 Contour
- 102 計曲線 Index contour
- 103 補助曲線 Form line
- 104 傾斜線 Slope line
- 105 等高線数値 Contour value
- 106 土がけ Earth bank
- 108.1 小さな土塁 Small earth wall
- 109 きれつまたはみぞ Erosion gully or trench
- 110 小さなきれつ Small erosion gully
- 112 小さなこぶ Small knoll
- 113 小さな細長いこぶ Small elongated knoll
- 115 小凹地 Small depression
- 116 穴またはくぼみ Pit or hole
- 117 凹凸地 Broken ground
- 118 目立つ地形上の特徴物 Prominent landform feature

4.2 岩と石

- 201 通過不能ながけ (通過禁止) Impassable cliff (forbidden to cross)
- 202 巨大な岩または柱状の岩 Gigantic boulder or rock pillar
- 203 通過可能な岩がけ Passable rock face
- 204 岩穴 Rocky pit
- 205 横穴 Cave
- 206 岩 Boulder
- 207 大きな岩 Large boulder
- 208 岩石地 Boulder field
- 210 礫(れき)地 Stony ground
- 211 開けた砂地 Open sandy ground
- 212 露岩 Bare rock

4.3 水系と湿地

- 303 小さな池 Waterhole
- 304.1 通過不能な水域 (通過禁止) Impassable body of water (forbidden to cross)
- 305.1 通過可能な水域 Passable body of water
- 306 通過可能な小さな水路 Passable small watercourse
- 307 細い水路 Minor watercourse

- 308 細い湿地 Narrow marsh
 309 通過不能な湿地 (通過禁止) Impassable marsh (forbidden to cross)
 310 湿地 Marsh
 311 不明瞭な湿地 Indistinct marsh
 312 小さな噴水または井戸 Small fountain or well
 313 湧水点 Spring
 314 目立つ水系の特徴物 Prominent water feature
4. 4 植生
- 401 開けた土地 Open land
 402 まばらに木の生えた開けた土地 Open land with scattered trees
 403 荒地 Rough open land
 404 まばらに木の生えた荒地 Rough open land with scattered trees
 405 林：走行容易 Forest:easy running
 406 林：走行可能 Forest:slow running
 407 下生え：走行可能 Undergrowth:slow running
 408 林：走行困難 Forest:difficult to run
 409 下生え：走行困難 Undergrowth:difficult to run
 410 植生：通行困難 Vegetation:very difficult to run
 421 通過不能な植生 (通過禁止) Impassable vegetation (forbidden to cross)
 411 特定方向に走行可能な林 Forest runnable in one direction
 412 果樹園 (通過禁止) Orchard(forbidden to cross)
 413 方向性のある果樹園(例：ぶどう畑) (通過禁止)
 Orchard,one direction (e.g.Vineyard) (forbidden to cross)
 414 明瞭な耕作地の境界 Distinct cultivation boundary
 415 耕作地 (通過禁止)
 (Seasonally out of bounds) cultivated land(forbidden to cross)
 416 明瞭な植生界 Distinct vegetation boundary
 418 目立つ大きな樹木 Prominent large tree
 419 目立つ藪または小さな樹木 Prominent bush or small tree
 420 目立つ植生の特徴物 Prominent vegetation feature
 431 きのこと栽培地 (通過禁止) Mashroom growing area(forbidden to cross)
4. 5 人工特徴物
- 506.1 未舗装の歩道または小道 Unpaved footpath or track
 507 小さな未舗装の歩道または小道 Small unpaved footpath or track
 508 不明瞭な小径 Less distinct small path
 509 切り開き Narrow ride
- 512.1 橋 Bridge
 515.1 鉄道 Railway
 515.2 路面軌道 Tramway
 516 送電線,ケーブルまたはスキーリフト Power line,cableway or skilift
 517 送電線幹線 Major power line
 518.1 地下通路またはトンネル Underpass or tunnel
 519 通過可能な石塁 Passable stone wall
 519.1 通過可能な壁 Passable wall
 521.1 通過不能な壁 (通過禁止) Impassable wall (forbidden to cross)
 522 通過可能な柵または手すり Passable fence or railing
 524 通過不能な柵または手すり (通過禁止) Impassable fence or railing (forbidden to cross)
 525 横断地点 Crossing point
 526.1 建物 (通過禁止) Building (forbidden to cross)
 526.2 天蓋 (キャノピー) Canopy
 526.3 支柱 Pillar
 526.5 ビニールハウス (通過禁止) Green house (forbidden to cross)
 528.1 立入禁止区域 (通過禁止) Area with forbidden access (forbidden to cross)
 529 舗装区域 Paved area
 529.1 段差または舗装区域のふち Step or edge of paved area
 533 通過可能なパイプライン Passable pipeline
 534 通過不能なパイプライン (通過禁止) Impassable pipeline (forbidden to cross)
 535 高い塔 High tower
 536 小さな塔 Small tower
 537 ケルン、記念碑、小さな記念物または境界石 Cairn,memorial,small monument or boundary stone
 538 給餌台 Fodder rack
 539 目立つ人工特徴物 Prominent man-made feature
 540 目立つ人工特徴物 Prominent man-made feature
4. 6 技術記号
- 601 磁北線 Magnetic north line
 602 内トンボ Registration marks
 603 標高点 Spot height
4. 7 コース記号 (重ね印刷される記号)
- 701 スタート Start
 702 コントロール位置 Control point

- 703 コントロール番号 Control number
- 704 ライン Line
- 705 誘導区間 Marked route
- 706 フィニッシュ Finish
- 707 通過不能な境界線 (通過禁止) Uncrossable boundary (forbidden to cross)
- 708 横断地点 Crossing point
- 708.1 横断部分 Crossing section
- 709 立入禁止区域 Out-of-bounds area
- 712 救護所 First aid post
- 713 給水所 Refreshment point
- 714 特設の建造物または閉鎖区域 (通過禁止) Temporary construction or closed area (forbidden to cross)

5. 付 則

この規程は、平成 18 年 3 月 15 日から施行する。

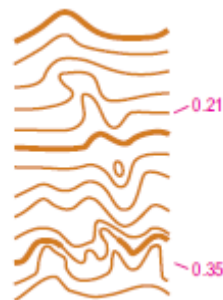
この規程の施行以前に作成された地図は、適用の対象外とする。

改訂 平成 19 年 3 月 3 日 (ISSOM2007 発効に伴う改定)

4 記号の定義

<p>注記： 寸法の単位はmm。 すべての図形は判読しやすいうように2倍の大きさで記載した。 記号の大きさは 1/5000 と 1/4000 で同一である。</p>	<p>< 2本の線の間隔、塗面の隙間 — 線の太さ = 線の中心から中心の距離、一般的に付線の長さは基本線の中心から測られたものである Φ 直径 ↑ 正置記号（北に向けて表記する）</p> <p>すべての点状記号では、位置は記号の重心点である。</p>
---	---

4.1 地形



101 主曲線 Contour

同じ標高を連続的に表わす実線(等高線)。スプリントオリエンテーリング地図では、標準的な等高線間隔は2mまたは2.5m間隔とする。地形の把握を容易にするため、等高線は建物(526.1)や天蓋(526.2)を含めすべての記号に重ねて連続的に表記する。ただし、判読性を良好にするため次の記号上では分断して表記する：小さな土塁(108.1)、小さなきれつ(110)、小さなこぶ(112)、小さな細長いこぶ(113)、小凹地(115)、穴またはくぼみ(116)、目立つ地形上の特徴物(118)、段差または舗装区域のふち(529.1)。隣接する特徴物間の相対的な高さの違いは可能な限り正確に地図に表記しなければならない。しかしながら絶対的な高度の正確性はさほど重要ではない。もし特徴物の表現を良好にすることになるのであれば、等高線の位置をわずかにずらすことも許容される。ただし、等高線の移動は等高線間隔の25%を超えるべきではなく、さらに隣接する特徴物との相対関係に注意を払わなければならない。主曲線の湾曲部分の最小寸法は、線の中心から中心まで0.4mmとする。色：茶

102 計曲線 Index contour

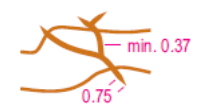
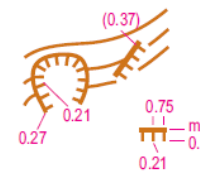
等高線は5本ごとに計曲線で表わすべきである。計曲線の使用目的は高さの違いや地形を即座に判読することを助けるためである。計曲線が複雑な地形を表わすためには不適切な場合、その部分は主曲線(101)で表現してもよい。色：茶

103 補助曲線 Form line

等高線間の中間高度を表わす等高線である。補助曲線は通常の等高線[主曲線(101)、計曲線(102)]で表現しきれない地形について、さらに詳細な地形情報を表わすために使用する。補助曲線は隣接する等高線の間で1本だけ使うことができる。色：茶

104 傾斜線 Slope line

傾斜の方向を明瞭に示す必要がある部分では、傾斜線を等高線に対して低い方に向けて描く。たとえば沢の方向や凹地で用いる。色：茶



105 等高線数値 Contour value

等高線数値は大まかな標高差を見積もる補助手段として表記できる。等高線数値は計曲線(102)を切断し標高の高いほうに数字の上部を向けて記入する。等高線数値の記入位置は、他の地図情報の判読を妨げないようにする。色：茶

106 土がけ Earth bank

土がけとは周囲の地形から明確に見分けられる傾斜が急になる部分で、たとえば土砂の採取場、道路や線路の切通し、土盛りなどが相当する。記号の短線は傾斜部分全体を覆うように表示する。しかし、二つの土がけが近接して向かい合っている場合、短線を省略することが出来る。通過することが出来ない土がけは通過不能なけ(201)で表記する。非常に高い土がけの線は太さを0.37mmとしてもよい。色：茶

108.1 小さな土塁 Small earth wall

一般的に人為的に作られた小さいが明確な土塁。高さは0.5m以上。大きな土塁は主曲線(101)、補助曲線(103)、または土がけ(106)で表わす。色：茶

109 きれつまたはみぞ Erosion gully or trench

小さくて、土がけ(106)、主曲線(101)、計曲線(102)、補助曲線(103)では表現できないきれつやみぞは実線で表わす。線の太さはきれつの幅を示す。線の先端部は尖らせる。深さは1m以上とする。地図上の最小の長さは3mm、すなわち1/5000では実長15m、1/4000では12mとなる。色：茶

110 小さなきれつ Small erosion gully

小さなきれつやみぞ。深さ0.5m以上とする。地図では最低2点以上で表記する。すなわち1/5000では実長3m、1/4000では2.4mとなる。色：茶

112 小さなこぶ Small knoll

小さな土や岩の盛り上がり地点で、主曲線(101)や計曲線(102)、補助曲線(103)で表わせないもの。周囲の地表から最低1m以上の高さがあるべきである。色：茶

113 小さな細長いこぶ Small elongated knoll

等高線(101/102)や計曲線(102)、補助曲線(103)で表現することができない小さいが明確な細長いこぶ。最大の長さ6m、最大の幅を2mとする。周囲の地表から最低1m以上の高さがあるべきである。これより大きなものは等高線を用いて表現する。この記号はこぶの形を描いてはならない。ふたつの記号を重ねたり接して描いてはならない。色：茶

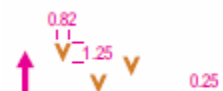
115 小凹地 Small depression

主曲線(101)、計曲線(102)あるいは補助曲線(103)と傾斜線(104)では表現できない、自然に形成された小さくて浅い凹地は半円で表わす。直径は 2m 以上とする。周囲の地表から最低 1m 以上の深さがあるべきである。この記号は北に向けて正置する。色：茶



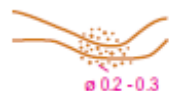
116 穴またはくぼみ Pit or hole

土がけ(106)の記号では表わすことができない大きさで、明らかに急傾斜の縁で構成された穴やくぼみ。直径は 2m 以上。周囲の地表から最低 1m 以上の深さがあるべきである。この記号は北に向けて正置する。色：茶



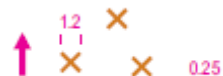
117 凹凸地 Broken ground

非常に密集して個々に表わせない穴やくぼが存在する区域。ランダムに表現されるドットの密度は地表の状態によって変えることができる。色：茶



118 目立つ地形上の特徴物 Prominent landform feature

特徴的あるいは目立つ小さな地形上の特徴物。この記号を用いる場合、その定義を地図上に凡例として記載するべきである。この記号は北に向けて正置する。色：茶



■ ISOM2000 に定義されているが ISSOM2005 では除外された地形の記号

107 土塁 Earth wall : スプリント O-MAP は大縮尺であり、土塁は等高線(101)、計曲線(102)、補助曲線(103)あるいは土がけ(106)によって表わす。

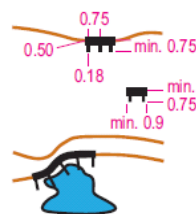
111 こぶ Knoll : 主曲線(101)、計曲線(102)、補助曲線(103)に包含される記号である。

114 凹地 Depression : 主曲線(101)、計曲線(102)、補助曲線(103)と傾斜線(104)に包含される記号である。

4. 2 岩と石

201 通過不能ながけ (通過禁止) Impassable cliff (forbidden to cross)

通過不能ながけ、採石場あるいは土がけ。短線はがけ部分の頂線から根元にむけて傾斜部分の全体を覆うように表示する。垂直な岩がけでは、がけの間の通過地点が狭いなどの理由でスペースが狭い場合、短線を省略することができる。(通過地点は最小幅 0.3mm 以上で描く。) がけの壁面が覆っている面記号に重ねて短線を描いても良い。岩がけが直接水面に落ち込み、水際に沿ってがけ下を通過できない場合、水面の輪郭線を省略するか、あるいはがけ記号の短線を、輪郭線を明確にょぎって表記する。がけの高さは 2.0m 以上とする。色：黒
通過不能ながけは通過を禁止する。この規則に違反した競技者は失格とする。



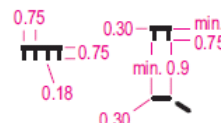
202 巨大な岩または柱状の岩 Gigantic boulder or rock pillar

巨大な岩、柱状の岩、塊状の岩壁は短線を使わず、形状を描く。色：黒



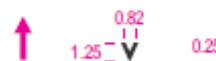
203 通過可能な岩がけ Passable rock face

小さな垂直の岩がけは短線を省略してもよい。もし岩がけの壁面の方向が等高線から読み取れない場合や判断性を増すことができる場合、がけの壁面の方向に短線を描くべきである。岩がけの最小の高さは 1m。短線をつけない通過可能な岩がけでは、判断性を向上させるため、線分の両端を丸くすることができる。色：黒



204 岩穴 Rocky pit

競技者に危険性のある岩穴、くぼみ、鉱山の立坑。この記号は北に向けて正置する。色：黒



205 横穴 Cave

横穴は岩穴と同じ記号で表わす。この記号は斜面の方向に向けて表記する。この記号は市街地では使用すべきではない。記号の重心点が開口部を示す。色：黒
横穴の内部に等高線を表記しないこと。



206 岩 Boulder

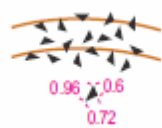
小さく明確な岩。最小の高さは 1m。地図上に描かれた個々の岩は、地表でそれぞれ容易に特定できること。色：黒



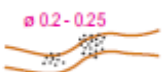
207 大きな岩 Large boulder

大きく明確な岩。非常に大きな岩は、巨大な岩または柱状の岩(202)の記号によって形状を表記する。色：黒





208 岩石地 Boulder field
個々に表記することができないたくさんの岩石で覆われた区域はランダムな配置した三角形を使って表わす。走行性が低下する程度は三角形の密度で示す。最低 2 個の三角形を使うこと。三角形は最大 20%まで拡大して使用できる。色：黒



210 礫(れき)地 Stony ground
れきや石によって走行性が低下する区域。ドットの密度はれきや石の量によってランダムに表記する。最低 3 個のドットを使うこと。色：黒



211 開けた砂地 Open sandy ground
走行性が低下し、植生のないやわらかい砂地または砂利地。砂地が開けていて走行性が良い場合は、開けた土地(401)、まばらに木の生えた開けた土地(402)、あるいは舗装区域(529)で表記する。色：黒 12.5%(22lines/cm)および黄 50%(403 荒地を参照)

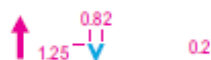


212 露岩 Bare rock
表土や植生のない走行可能な露岩。草、苔あるいは低い植生覆われた露岩はそれぞれの開け方や走行性によって表記する(401/402/403/404)。色：黒 20%(最小 60lines/cm)または灰色

■ ISOM2000 に定義されているが ISSOM2005 では除外された岩と石の記号

209 岩石群 Boulder cluster : スプリントオリエンテーリング地図は大縮尺であり、岩石は個々の岩(206)で示される。

4. 3 水系と湿地



303 小さな池 Waterhole
水の満ちている穴または小さくて縮尺で表現できない水域。この記号は北に向けて正置する。色：青



304.1 通過不能な水域 (通過禁止) Impassable body of water (forbidden to cross)
湖沼、池、河川または噴水など競技者に危険な、あるいは通過を禁止した深い水域。濃い青色と太い黒の輪郭線は通過できない、あるいは通過を禁じられていることを示す。最小面積は 1m²。色：青 100%又は 75%(最小 60lines/cm)、黒
通過不能な水面は通過を禁止する。この規則に違反した競技者は失格とする。



305.1 通過可能な水域 Passable body of water
通過することができる池や河川、噴水のような浅い水域。水深 0.5m 未満で走行可能であること。もし走行可能ではない場合は通過不能な水域(304.1)で表記しなければならない。通過可能な水域の境界が他の線状記号で区切られていない場合は、青線で境界を示す。色：青 30%(最小 60lines/cm)、青



306 通過可能な小さな水路 Passable small watercourse
幅 2m 未満の排水溝を含む通過可能な水路。色：青



307 細い水路 Minor watercourse
自然に形成されたあるいは人工の細い水路で水が途切れとぎれに存在する。色：青



308 細い湿地 Narrow marsh
湿地(310)では細くて表記できない湿地やわずかに水の流れる場所。色：青



309 通過不能な湿地 (通過禁止) Impassable marsh (forbidden to cross)
通過できない、あるいは競技者にとって危険な湿地。太い黒の輪郭線は通過を禁じられていることを示す。この記号は北に向けて正置する。色：青、黒
通過不能な湿地は通過を禁止する。この規則に違反した競技者は失格とする。



310 湿地 Marsh
通過可能な湿地で通常、周囲は明確である。走行性や開けている状態を示す植生記号と複合して使用するべきである。この記号は北に向けて正置する。色：青



311 不明瞭な湿地 Indistinct marsh
不明瞭なあるいは季節的な湿地、湿地から乾いた土地に遷移している区域で通行可能である。周囲は一般に不明瞭であり周辺の地表と植生は酷似している。走行性や開けている状態を示す植生記号と複合して使用する。この記号は北に向けて正置する。色：青



312 小さな噴水または井戸 Small fountain or well
少なくとも高さ 1m あるいは直径 1m の小さな井戸または小さな噴水。色：青



313 湧水点 Spring
明瞭に水が湧き出している小川の水源。この記号は市街地で使用しない。この記号は流れ出している方向に向ける。色：青



314 目立つ水系の特徴物 Prominent water feature
特徴的あるいは目立つ小さな水系の特徴物。この記号を用いる場合、その定義を地図上に凡例として記載するべきである。この記号は北に向けて正置する。色：青

■ ISOM2000 に定義されているが ISSOM2005 では除外された水系と湿地の記号

301 湖 Lake : 通行の可否により通過不能な水域(304.1)あるいは通過可能な水域(305.1)で表記する。

302 池・沼 Pond : 通行の可否により通過不能な水域(304.1)あるいは通過可能な水域(305.1)で表記する。

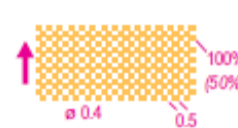
304 渡れない河川 Uncrossable river : 通過不能な水域(304.1)で表記する。

305 渡れる水路 Crossable watercourse : 通過可能な水域(305.1)で表記する。

4. 4 植 生



401 開けた土地 Open land
非常に走行性が高く立入可能な木の生えていない耕作地、芝地、牧草地、広場など。立入禁止の耕作地は(415)で表記する。色：黄



402 まばらに木の生えた開けた土地 Open land with scattered trees
まばらに木や藪の生えている非常に走行性の高い芝地など。地図上の面積が 10m²以下の場合、開けた土地(401)で表記する。個々の樹木や藪(418,419)を追記することができる。色：黄 50%(20lines/cm)



403 荒地 Rough open land
伐採地、倒木帯、樹高 1m 未満の新しい植林地、背の高い草類、ヒースやササの生えた生えた荒地など。この記号は走行性の程度を表わすために、下生え：走行可能(407)あるいは下生え：走行困難(409)を重複して表記できる。色：黄 50%(最小 60lines/cm)



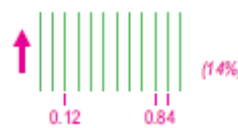
404 まばらに木の生えた荒地 Rough open land with scattered trees
まばらに木や藪の生えている荒地。地図上で 16m²よりも小さな区域は荒地(403)または林：走行容易(405)を使って表わす。個々の樹木や藪(418,419)を追記することができる。色：黄 70%(最小 60lines/cm), 白色スクリーン 48.5%



405 林：走行容易 Forest:easy running
それぞれのトレインにおいて典型的に走行性の高い林の区域。もし林に走行性が高い区域がない場合、地図上に白色で表示される部分は存在しない。色：白



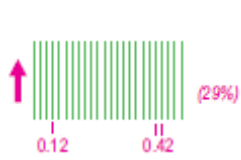
406 林：走行可能 Forest:slow running
通常のおよそ 60-80%にスピードが低下する樹木の茂った(見通しの悪い)区域。色：緑 30%(最小 60lines/cm)



407 下生え：走行可能 Undergrowth:slow running
通常のおよそ 60-80%にスピードが低下する下生え(いばら、ヒース、背の低い藪(やぶ)や笹、枝打ちされた枝などが茂っているが見通しのよい区域。この記号は林：走行可能(406)あるいは林：走行困難(408)と重複して使用してはならない。色：緑



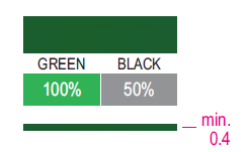
408 林：走行困難 Forest:difficult to run
通常のおよそ 20-60%にスピードが低下する樹木や藪(やぶ)の茂った(見通しの悪い)区域。色：緑 60%(最小 60lines/cm)



409 下生え：走行困難 Undergrowth:difficult to run
 通常のおよそ 20-60%にスピードが低下する下生え(いばら、ヒース、背の低い藪(やぶ)や笹、枝打ちされた枝など)が茂っているが見通しのよい区域。この記号は林：走行可能(406)あるいは林：走行困難(408)と重複して使用してはならない。色：緑



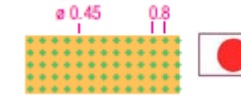
410 植生：通行困難 Vegetation:very difficult to run
 通行が困難な樹木や下生えなどの植生の繁茂した区域。走行性は通常の1-20%に低下する。色：緑 100%



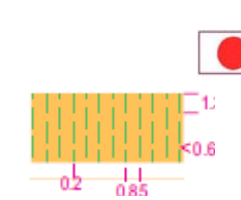
421 通過不能な植生 (通過禁止) Impassable vegetation (forbidden to cross)
 通過ができないあるいは、立入禁止または競技者に危険性があるために通過してはならない樹木や下生えなどの植生の繁茂した区域。色：緑 100%、黒 50%(最小 60lines/cm)
 通過不能な植生は通過を禁止する。この規則に違反した競技者は失格とする。



411 特定方向に走行可能な林 Forest runnable in one direction
 ある一定方向に走行性がよく、他の方向には走行性が低下する林の区域。スクリーン記号(406,408,410)に走行性の良い方向を示す白い線を表示する。色：緑、白



412 果樹園 (通過禁止) Orchard(forbidden to cross)
 果樹、茶、桑、その他の樹木を植えた畑などの土地。ドットの配列は植樹された方向を示してもよい。色：黄、緑



413 方向性のある果樹園(例：ぶどう畑) (通過禁止) Orchard, one direction (e.g.Vineyard) (forbidden to cross)
 果樹、茶、桑、その他の樹木を植えた畑などの土地で、明確な植樹方向がある。緑の破線は植樹の方向を表わすこと。色：緑、黄色

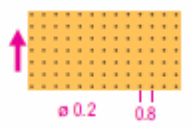
日本においては、果樹園(412)と方向性のある果樹園(413)は原則的に立入禁止区域とする。国際競技を開催する場合、ならびにテレイン内すべてで立ち入り可能な場合、立ち入りの可否を地図凡例およびプログラムなどの競技情報により、競技者に対して事前に周知しなければならない。また部分により立ち入りの可否が異なる場合、立入禁止区域(709)によりその区分を明確化し、その取り扱いを競技者に対して事前周知を行うこと。



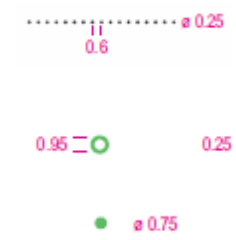
414 明瞭な耕作地の境界 Distinct cultivation boundary
 フェンス、壁、小道など他の記号では示されていない耕作地(415)の境界線は黒の実線で表記する。異なる種類の耕作が行われている恒常的な耕作地の境界線もこの記号で表わす。色：黒



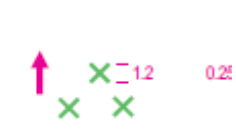
415 耕作地 (通過禁止) (Seasonally out of bounds) cultivated land(forbidden to cross)
 畑、水田など立入禁止の耕作地は、黄に黒のドットスクリーンを重ねて表わさなければならない。色：黄、黒 5%(12.5lines/cm)



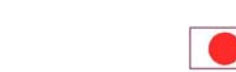
日本においては、耕作地は原則的に立入禁止区域とする。国際競技を開催する場合、ならびにテレイン内すべてで立ち入り可能な場合、立ち入りの可否を地図凡例およびプログラムなどの競技情報により、競技者に対して事前に周知しなければならない。また部分により立ち入りの可否が異なる場合、立入禁止区域(709)によりその区分を明確化し、その取り扱いを競技者に対して事前に周知を行うこと。



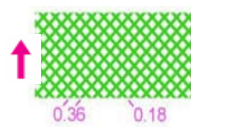
416 明瞭な植生界 Distinct vegetation boundary
 明瞭な林のふち、または林の中にある非常に明瞭な植生の境界線。不明瞭な境界線では、区域のふちは色やドットスクリーンの変化だけで表記する。色：黒



418 目立つ大きな樹木 Prominent large tree
 目立つ独立樹。色：緑



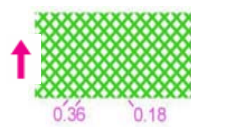
419 目立つ藪または小さな樹木 Prominent bush or small tree
 藪あるいは幹の直径が 0.5m 以下の樹木。色：緑



420 目立つ植生の特徴物 Prominent vegetation feature
 特徴的で目立つ植生の特徴物。この記号を用いる場合、その定義を地図上に凡例として記載するべきである。この記号は北に向けて正置する。色：緑



431 きのご栽培地 (通過禁止) Mashroom growing area (forbidden to cross)
 きのご栽培のため屋外にほだ木などが置かれている区域。この記号は地図上で 1.0mm² よりも小さなものは表記しない。この記号は北に向けて正置する。色：緑
 きのご栽培地は通過を禁止する。この規則に違反した競技者は失格とする。



■ ISOM2000 に定義されているが ISSOM2005 では除外された植生の記号

417 不明瞭な植生界は記号ではない。

4. 5 人工特徴物

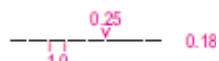
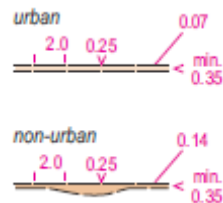


506.1 未舗装の歩道または小道 Unpaved footpath or track

未舗装の歩道あるいは路面状態の良い自動車が通る道は、滑らかで固い路面ではなく、主に徒歩で利用される道路である。この記号内部の茶色の濃さは、舗装区域(529)で選択した茶色の濃さと同一にすること。地図上の市街地以外でこの記号を使う場合は判読性を良くするために、記号の輪郭部分の破線を 0.07mm から 0.14mm に太くし、記号内部の茶色を濃くすること。すなわち市街地で X% の茶色を使った場合は、市街地以外では (X+20)% の濃度とする。

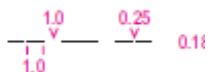
歩道の幅が 1.4m 以下(1/4,000)または 1.8m 以下(1/5,000)の場合、地図上の幅を 0.35mm とし、それ以上の幅があるときは実寸で表記する。競技エリア内に自動車が運行する道または区域があり、競技中に自動車の運行を停止・制限できない場合、競技者の安全確保を図るため、自動車の運行する道または区域は茶色の表記を濃くして示すこと(記号 506.1/529)。この表記を行う場合は、あらかじめ地図凡例およびプログラムなどの競技情報により、競技者に対して事前に周知しなければならない。

色：黒、茶 0%(白),10%,20%,30%(市街地) / 20%,30%,40%,50%(市街地以外)(最小 60lines/cm) ;色と線の太さは記号 529/529.1 と一致させる。



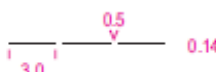
507 小さな未舗装の歩道または小道 Small unpaved footpath or track

小さな未舗装の歩道または小道。市街地では使用しない。色：黒



508 不明瞭な小径 Less distinct small path

不明瞭な小道あるいは木材搬出のあと。市街地では使用しない。色：黒



509 切り開き Narrow ride

切り開きとは森林(一般的には植林した林)の中の直線状の切れ目で、明瞭な小道を伴っていないもの。切り開きに沿って小道がある場合、小さな未舗装の歩道または小道(507)を使って表わす。市街地では使用しない。色：黒



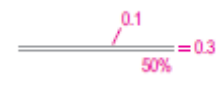
512.1 橋 Bridge

橋とは河川、深いみぞ、道路などの上を通過するための構造物をいう。色：黒



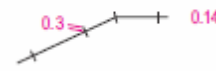
515.1 鉄道 Railway

鉄道とは列車、電車が運行する線路のある恒久的な軌道をいう。線路を通行したり横断したりすることや軌道の周辺に立ち入ることを禁じる場合、立入禁止区域(528.1)を併用して表記すること。色：黒



515.2 路面軌道 Tramway

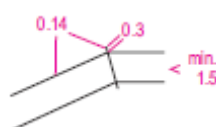
路面軌道は通常、線路が敷設された特定の道路上を運行する公共交通機関をいう。軌道は競技者にとって容易に通過することができる。路面軌道は通常表記しないが、ナビゲーションや方向決定に役立つと考えられる場合はこれを表記することができる。色：黒(50%)



516 送電線、ケーブルまたはスキリフト

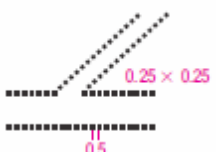
Power line, cableway or skilift

送電線、ケーブル、スキリフト。短線は支柱の位置を示す。色：黒



517 送電線幹線 Major power line

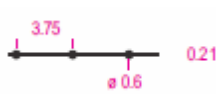
送電線幹線は二条線で表記する。二条線の間隔は送電線の架線幅を示す。非常に大きな支柱や複合構造のパイロンは、高い塔(535)か建物(526.1)の記号により平面構造を描く。この場合、送電線は表記しない(地図上はパイロンのみ表記される)。色：黒



518.1 地下通路またはトンネル Underpass or tunnel

地下通路またはトンネルは、鉄道や道路など横切る歩行者や自動車のための地下に敷設された通路をいう。色：黒

もし、競技中に地下通路やトンネルが使用される場合、通過地点(708)か通過部分(708.1)で強調して示すこと。



519 通過可能な石壁 Passable stone wall

石壁または石積みの傾斜面。この記号は市街地以外でのみ使用可能である。もし高さが 2.0m 以上ある場合、通過不能な壁(521.1)で表記しなければならない。色：黒



519.1 通過可能な壁 Passable wall

通過可能な壁あるいは護岸とは、石、れんが、コンクリートなどで構築された通過可能なものをいう。この記号は市街地での使用に適している。もし高さが 2.0m 以上ある場合、通過不能な壁(521.1)で表記しなければならない。広い壁は平面的な表記をする。色：黒 50%



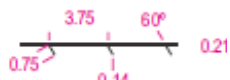
521.1 通過不能な壁(通過禁止) Impassable wall (forbidden to cross)

通過不能な壁あるいは護岸とは、立ち入りを禁じたり、防護する機能を持つ壁をいう。この特徴物は立ち入りを禁じたり、その高さに起因して競技者に危険な構造であるため通過を禁止する。広い通過不能な壁は平面的に表記し、あるいは建物(526.1)で表記する。色：黒

通過不能な壁は通過を禁止する。この規則に違反した競技者は失格とする。

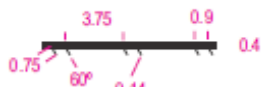
522 通過可能な柵または手すり Passable fence or railing

通過可能な柵は、進入を防止したり境界を示すため、耕作地や空地などを囲むバリアーで、一般的に支柱とワイヤーや木で構成されている。手すりとは、間隔をあけて立てられた支柱に水平に張られた1本または複数の横木で構成されている柵のような構造物を指し、通常、すり抜ける。柵や手すりが高さが2mを超えたり通過が困難な場合は、通過不能な柵または手すり(524)で表記する。色：黒



524 通過不能な柵または手すり (通過禁止)

Impassable fence or railing (forbidden to cross)
通過不能な柵または手すりとは、高さが競技者にとって危険であったり、通過禁止になっているものである。色：黒
通過不能な柵または手すりは通過を禁止する。この規則に違反した競技者は失格とする。



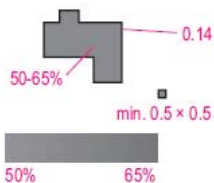
525 横断地点 Crossing point

横断地点は、競技者が容易に通過できる柵、手すり、あるいは壁の隙間や出入口をいう。競技者が容易に通過できないような小さな隙間や出入口は地図上に表記せず、競技中は閉鎖する。色：黒



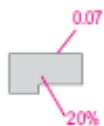
526.1 建物 (通過禁止) Building (forbidden to cross)

建物とは屋根のある恒久的な建造物である。立入禁止区域(528.1)の中の建物は単純化して表わしてよい。建物に付随する区域は建物の一部として地図上に表記する。建物と建物の間あるいは建物と他の通過不能な特徴物との間の最小寸法を0.4mmとする。黒色のスクリーン密度はトレインの状況により選定する。濃いスクリーンを用いると通路、階段、天蓋など通過可能部分のコントラストを明確にできる。一方、薄いスクリーンでは等高線や重ねて印刷したコース記号をより判別しやすくすることができる。(すなわちこの選定は、非常に重要な要件である。)黒のスクリーン密度は地図全体で同一でなければならない。色：黒、黒50-60%
建物を通過したり乗り越えたりすることを禁止する。この規則に違反した競技者は失格とする。



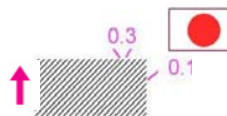
526.2 天蓋 (キャノピー) Canopy

天蓋とは通常、支柱、橋脚あるいは壁によって支えられた通路、アーケード、中庭、バスセンター、ガソリンスタンド、車庫のような屋根のある建造物をいう。少なくとも建物の1つの側面は壁がない。競技者が容易に通過できないような建物の小さな通過部分は地図上に表記せず、競技中は閉鎖する。色：黒、黒20%



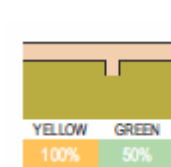
526.3 支柱 Pillar

支柱は建物を支える目的で使われている石やレンガのような建材で造られた柱状の構造物で、高さに比して細く断面の形状は多様である。2m×2mよりも断面の小さな支柱は通常、表記しない。支柱が連続しているものや建物に付随したものは表記しない。しかし、ナビゲーションや方向決定に重要な場合は表記する。色：黒



526.5 ビニールハウス (通過禁止) Green house (forbidden to cross)

ポリマーシートで覆われた耕作地で人が入って作業できるもの。この記号は地図上で1.0mm²よりも小さなものは表記しない。この記号は北に向けて正置する。色：黒
ビニールハウスは通過を禁止する。この規則に違反した競技者は失格とする。



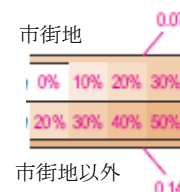
528.1 立入禁止区域 (通過禁止)

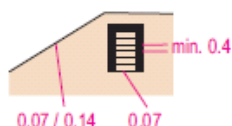
Area with forbidden access (forbidden to cross)
私有地、花壇、鉄道など立ち入りを禁じられた区域。この区域には特に明瞭な特徴物、たとえば線路、大きな建物、あるいは非常に大きな樹木などを除き表記をしない。進入口は明瞭に表記を行う。建物の内側にある立入禁止区域は建物の一部として表記する。色：黄100%、緑50%
立入禁止区域は通過を禁止する。この規則に違反した競技者は失格とする。



529 舗装区域 Paved area

舗装区域は、アスファルト、砂利地、タイル、コンクリートなどで表面を硬く覆った区域である。この区域は、段差または舗装区域のふち(529.1)により境界を示すか囲うこと。舗装区域間に明確な格差がありナビゲーションに使うことができる場合、段差または舗装区域のふち(529.1)で示すことができる。舗装区域や歩道、小道が市街地以外にある場合、中の茶色をより濃く示す。すなわち、市街地の茶色の濃さがX%の場合、市街地以外ではX+20%の濃度で示し、外周の黒線を0.07mmから0.14mmに太くすること。舗装区域のふちが不明瞭(たとえば砂利地から草地になっている)な場合は、黒の縁取りは省略できる。
競技エリア内に自動車が行く道・区域があり、競技中に自動車の運行を停止・制限できない場合、競技者の安全確保を図るため、自動車の行く道・区域は茶色の表記を濃くして示すこと(記号506.1/529)。この表記を行う場合は、あらかじめ地図凡例およびプログラムなどの競技情報により、競技者に対して事前に周知しなければならない。
色：黒、茶0%(白)、10%、20%または30%(市街地)／20%、30%、40%、50%(市街地以外)(最小60lines/cm)；色と線の太さは未舗装の歩道または小道506.1と同一にすること。





529.1 段差または舗装区域のふち Step or edge of paved area

段差または舗装区域のふち。市街地以外では判読性を高めるために線幅を 0.14mm とする。階段の段差は常に 0.07mm で表記する。ナビゲーションに使われる場合を除き、舗装区域間のふちは表記しない。色：黒



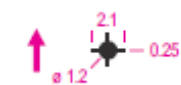
533 通過可能なパイプライン Passable pipeline

地表にある乗り越えたり潜ることのできるガス、水道、石油などのパイプライン。色：黒



534 通過不能なパイプライン (通過禁止) Impassable pipeline (forbidden to cross)

地表にある通過不能なガス、水道、石油などのパイプラインとは、高さが競技者にとって危険であったり、通過禁止になっているものである。色：黒
通過不能なパイプラインは通過を禁止する。この規則に違反した競技者は失格とする。



535 高い塔 High tower

高い塔や大きなパイロン。非常に大きな塔は建物(526.1)の記号により形状を表記する。この記号は北に向けて正置する。色：黒



536 小さな塔 Small tower

明瞭な射撃台、台座または小さな塔。この記号は北に向けて正置する。色：黒



537 ケルン、記念碑、小さな記念物または境界石 Cairn, memorial, small monument or boundary stone

高さ 0.5m 以上のケルン、記念碑、小さな記念物または境界石。大きな容積の記念物は建物(526.1)の記号を用いて形状を標記する。色：黒



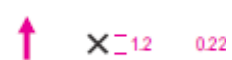
538 給餌台 Fodder rack

独立して立てられたり、木に取り付けられた給餌台。この記号は北に向けて正置する。色：黒



539 目立つ人工特徴物 Prominent man-made feature

特徴的で目立つ人工特徴物。この記号の定義は地図上に凡例で示さなければならない。色：黒



540 目立つ人工特徴物 Prominent man-made feature

特徴的で目立つ人工特徴物。この記号の定義は地図上に凡例で示さなければならない。この記号は北に向けて正置する。色：黒

■ ISOM2000 に定義されているが ISSOM2005 では除外された人工特徴物の記号

501 自動車道路、502 主要道路、503,504 道路、505 道は舗装区域 (529) と段差または舗装区域のふち(529.1)で表す。

510 明瞭な小道の分岐、511 不明瞭な分岐は除外する。

513 橋のある渡河点は 512.1 で表す。

514 橋のない渡河点は舗装区域 (529) を表記しないことにより表す。

520 壊れた石塁は通過可能な壁 (519.1) で表す。

523 壊れた柵は通過可能な柵またはレーリング (522) で表す。

527 集落は除外する。集落は立入禁止区域 (528.1) として表す。

530 建物跡は通過可能な石塁 (519.1) で表す。

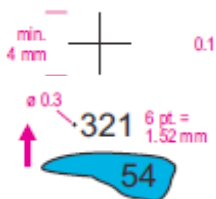
531 射撃場は除外する。

532 墓は目立つ人工特徴物 (540) で表す。

4. 6 技術記号



601 磁北線 Magnetic north line
磁北線とは、地図上で磁北極の方向を示す等間隔に記載された直線である。磁北線の間隔は、1:5,000 では 30mm、1:4,000 では 37.5mm とする。これは実際の距離で 150m に相当する。磁北線は小さな特徴物、たとえば岩、こぶ、がけ、河川の合流点、小道の終わりなどでは、判読性を確保するため切断して表記する。色：黒

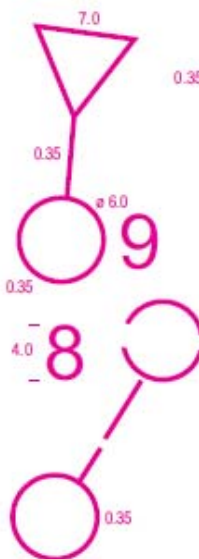


602 内トンボ Registration marks
内トンボは図郭内の非対照の位置に少なくとも3ヶ所記載をする。これによって、重ね印刷の色ずれを確認することができる。

603 標高点 Spot height
標高点とはおおまかな標高の違いを把握するために利用できる。標高は四捨五入してメートル単位で表示する。表記する数字は北に向けて正置する。水面標高は数字のみ表記し、点は除外する。色：黒

4. 7 コース記号 (重ね印刷される記号)

コース記号は、縮尺 1:5,000、1:4,000 の地図ともにサイズは同一である。

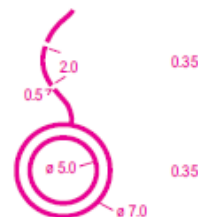


701 スタート Start
スタートあるいはスタートでない場合の地図の配布地点は、頂点を第1 コントロールに向けた正三角形で表記する。三角形の重心が正確なスタート地点を示す。色：パープル

702 コントロール位置 Control point
コントロール位置は円で示される。円の中心が特徴物の正確な位置を示す。重要な地図情報にコントロール位置の円弧が重なる場合、円弧の一部を切って表示する。色：パープル

703 コントロール番号 Control number
コントロール番号は、重要な地図情報の表記を妨げないようにしてコントロール位置の円に近接させて表記する。数字は北に向けて正置する。色：パープル

704 ライン Line
スタート、コントロール位置、フィニッシュは、競技上の回る順に直線を用いて結んで表記する。重要な地図情報を隠さないように、その部分でラインを切って表記する。色：パープル

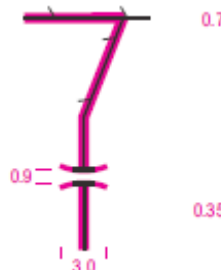


705 誘導区間 Marked route
誘導区間は地図上に破線で表記する。色：パープル

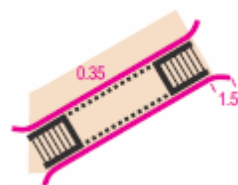
706 フィニッシュ Finish
フィニッシュは二重の同心円で表わす。位置は重心とする。色：パープル

707 通過不能な境界線 (通過禁止) Uncrossable boundary (forbidden to cross)

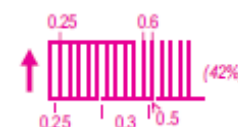
通過を許可されていない境界線。恒常的に通過不能な境界線は、通過不能ながけ(201)、通過不能な水面(304.1)、通過不能な湿地(309)、通過不能な壁(521.1)、通過不能な柵またはレーリング(524)または通過不能なパイプライン(534)など個々の通過禁止記号を使って表記すべきであり、通過不能な境界線(707)を重ね印刷するべきではない。通過不能な境界線(707)は、競技区域内で最新の制約を示す場合にのみ使用する。通過不能な境界線(707)を表記するためのパープルの過剰な使用は好ましくない。色：パープル
通過不能な境界線は通過を禁止する。この規則に違反した競技者は失格とする。



708 横断地点 Crossing point
壁やフェンスを通過あるいは乗り越えることができる地点、また道路や鉄道を横断できる地点、さらにトンネルや立入禁止区域を通れる地点は外側に湾曲した2本の円弧により表記する。もし、競技に地下通路やトンネルが使われる場合、通過地点(708)もしくは通過部分(708.1)を用いて強調する。色：パープル



708.1 横断部分 Crossing section
横断部分は建物、壁、フェンスを通過あるいは乗り越えることができる部分、また道路や鉄道を横断できる部分、さらにトンネルや立入禁止区域を通れる部分で、地図上ではその形に沿って線状に示す。もし、競技に地下通路やトンネルが使われる場合、通過地点(708)もしくは通過部分(708.1)を用いて強調する。色：パープル



709 立入禁止区域 Out-of-bounds area
立ち入りを禁止する区域は、立入禁止区域(528.1)の表記により地図上に示される。従って立入禁止区域(709)で定義される記号は、競技区域内で最新の制約を示す場合にのみ使用する。(たとえば、競技中の競技者にとって危険と考えられる区域、競技地域の直近の変化など)立入禁止区域(709)は図郭に垂直な平行線で表す。既存の境界線がない場合の輪郭線については、現地にテープなどを使って連続的な掲示がなされている場合は実線で表す。現地の掲示が不連続の場合は、輪郭を破線で描く。現地に掲示がない場合は輪郭線を付さない。色：パープル



712 救護所 First aid post
救護所の位置を示す。色：パープル



713 給水所 Refreshment point
コントロール位置以外または誘導区間以外の給水所の位置を示す。
色：パープル



714 特設の建造物または閉鎖区域 (通過禁止)
Temporary construction or closed area (forbidden to cross)
観戦者やアナウンスのための観戦席のような明瞭な特設の建造物や、
レストランやカフェテラスのような観戦者のための閉鎖区域は、実際の
形状を表記する。色：パープル 50%
特設の建造物または閉鎖区域は通過を禁止する。この規則に違反した
競技者は失格とする。

■ ISOM2000 に定義されているが ISSOM2005 では除外されたコース記号

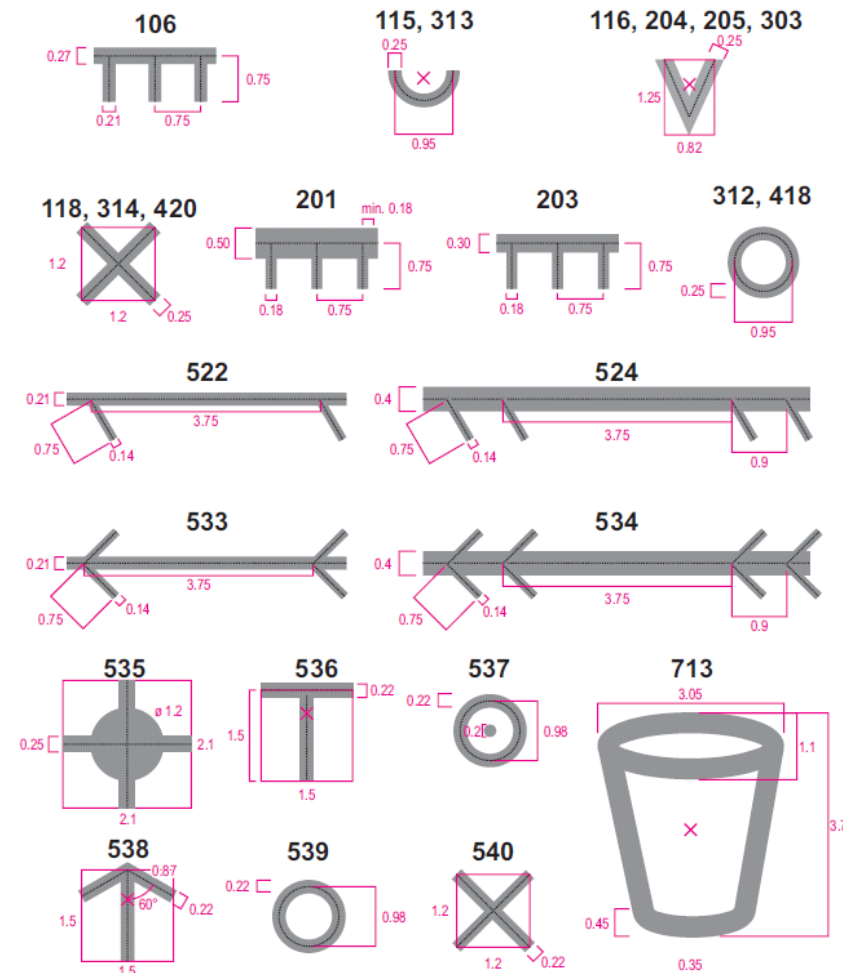
711 立入禁止のルート Forbidden route は使用しない

■ ISSOM2005 から ISSOM2007 への改訂に伴い削除されたコース記号

710 危険区域 Dangerous area は削除。危険区域は立入禁止区域(709)により表記する。

4. 8 正確な記号の形状

注記：寸法の単位はmm。
すべての図形は判読しやすいように 10 倍の大きさに記載した。



日本スプリントオリエンテーリング地図図式規程 (JSSOM2007)

JSSOM2006 からの改訂点について

JSSOM2006 は国際オリエンテーリング連盟 (IOF) が定めたスプリントオリエンテーリング地図国際図式 (ISSOM2005) を基に、わが国独自の記号を加えたものである。2007年1月、IOFによりISSOM2005の改訂が行われ、ISSOM2007が発効した。(社)日本オリエンテーリング協会地図図式委員会ではISSOM2007の改訂に伴いJSSOM2005からJSSOM2007への改訂を実施した。主たる改訂ならびに変更点を以下に記す。

1. 規程の追記

「3.6 記号の大きさ」の項に印刷許容範囲、記号の最小寸法、スクリーンで表示される記号間の重複表記について追記した。

2. 記号定義の変更

2. 1 記号名称・定義の変更

「4. 図式」に定義される記号の名称、表記を変更した。さらに誤記を修正した。

- 101 主曲線 **Contour** : 相対高度の表現、許容範囲を追記。
- 106 土がけ **Earth bank** : 非常に高いがけの線の太さについて追記。
- 109 きれつまたはみぞ **Erosion gully or trench** : 線幅の定義を最大 0.37mm から最小 0.37mm に変更。
- 113 小さな細長いこぶ **Small elongated knoll** : 名称の変更。
- 402 まばらに木の生えた開けた土地 **Open land with scattered trees** : 最小面積の表記を追加。
- 421 通過不能な植生 **Impassable vegetation** : 最小幅を 0.25mm から 0.4mm に変更。

418 目立つ大きな樹木 **Prominent large tree** : 名称の変更。

419 目立つ藪(やぶ)または小さな樹木 **Prominent bush or small tree** : 名称の変更。

525 通過地点 **Crossing point** : 名称の変更 (旧: 横断点)。

526.1 建物 **Building** : 建物と通過不能記号との間の最小寸法を規定。

529.1 段差または舗装区域のふち **Step or edge of paved area** : 英名の変更 (旧: areas)。階段の線幅について規定。

537 ケルン、記念碑、小さな記念物または境界石 **Cairn, memorial, small monument or boundary stone** : 容積がある場合について追記。

706 フィニッシュ **Finish** : 名称の変更 (旧: ゴール)。

709 立入禁止区域 **Out-of bounds area** : 名称の変更 (旧: 特設の立入禁止区域 **Temporarily out-of bounds area**)。使用例を追記。

「4. 8 正確な記号の形状」について追記(713)および定義の明確化を行った。

2. 2 記号の削除

710 危険区域 **Dangerous area** を削除する。